

アドベンチャーラリー 指導者マニュアル

1 ねらい

- ・アクティブラーニングの手法を通して、集団活動での仲間の大切さ、協力の意味を知る。
- ・課題をクリアしていく過程を通して、グループが成長していくことを実体験する。

2 内容

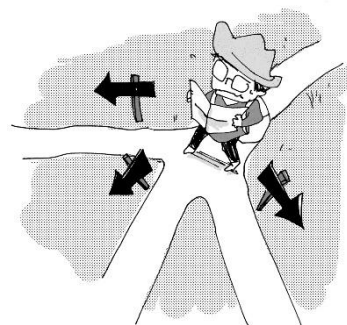
- ・与えられた課題をグループごとに解決していくプログラムです。

3 対象 小学校高学年以上

4 時期 通年

5 人数 8～160人程度（1グループ 6人～12人）

6 所要時間 1時間半～



7 準備

- ① 課題を決める。（課題によって同時対応可能数が異なります。）
※1つの課題につき、安全管理のためスタッフを必ず1名つけてください。（複数の課題を担当することもできますが、チャレンジしているグループがある場合、新たにきたグループは待機をさせてください。）
※スタッフとなる人は安全に活動できるように、事前に下見・体験をしておきましょう。
※すべての課題を実施する必要はありません。
- ② 活動範囲・場所を決める。（雨天時は体育館、集会室、多目的ホールなど）
- ③ 道具を使用する課題の場合は、備品を予め実施する場所においておく。
※道具は管理棟にて、貸出しをしています。

8 実施

<ルール説明>

- ・チームでポイントをまわり、制限時間内により多くの得点を獲得することが目的です。
- ・課題に応じて得点が設定されており、ポイントをどのように回るかはチームの判断にゆだねます。
- ・チャレンジに失敗した場合は一度終了となります。他ポイントにいく事で再チャレンジができます。（最終ポイントで失敗した場合、作戦会議時間5分を挟めば再チャレンジができることとします。）
- ・課題がクリアできたら担当のスタッフ（先生）からサインをもらってください。

<スタート>

- ・スタートの合図でゲームを開始する。
- ・制限時間になったら（全ての課題が解決したら）班全員で集合場所へ戻ってください。
※制限時間や集合場所は各団体が決定してください。
- ・制限時間は1時間半～。全ての課題を行う場合は、班数にもよりますが3時間以上の時間が必要です。

<まとめ>

- ・ふりかえり
※10「指導のポイント・展開のアイデア参照」

<片付け>

- ・スタッフはスコアシートを回収する。
- ・設置した用具の撤収



9 留意点

- ① 移動の際に村外へは行かない。
- ② 野生動物（ヘビ・ハチなど）に出会ってもおどかさない。
- ③ ケガやトラブルがあった時はすぐに先生やスタッフへ報告すること。

10 指導のポイント・展開のアイデア

- ・班で協力してできたかどうか。
- ・班の中で自分の行動はどうだったか、他の人の行動はどうだったかふりかえる。
- ・用紙（しおり）などに自分のふりかえりを記入し、グループで発表できると良い。
- ・成功できなかった課題については、どうしたら成功できるのかを話し合い出来るようにする。
- ・ふりかえりシートを活用して班で話し合う。

11 スタッフの役割

<課題の安全管理>

- ・実施する課題のルールと安全上の注意点を説明します。
- ・チャレンジ中は、参加者の【心と体の安全】を確保します。また、著しく危険な行為が行われた場合は、活動を中断させます。
- ・活動中の時間管理を行います。

<スコアシートの記入>

- ・チャレンジが成功した場合、該当欄にサインを記入します。

13 スタッフの関わり方

- ・課題を進行する人を“ファシリテーター”（促進者）と呼びます。
- ・この活動は、参加者主体の活動です。課題の答えやヒントを教えるのは控えてください。また、活動がうまくできていないグループに対して、介入や指導を行うことも禁止です。
- ・グループによってルールを変更したり、差をつけたりせず「公平な」ジャッジをしてください。
- ・できないことを認めてあげたり、意見を肯定的に受け止め、ポジティブな関わりをしてください。
- ・参加者が活動しやすい空間（話しやすいなど）を作ってあげてください。

14 進行例（1 時間半）

- ・オリエンテーション（5分）…ルール説明、動機付け
- ・作戦会議（10分）……………どの課題から回るかの話し合い
- ・チャレンジタイム（60分）…4個～7個ほどの課題実施
- ・ふりかえり（10分）……………結果集計、トイレタイム
- ・結果発表・まとめ（5分）